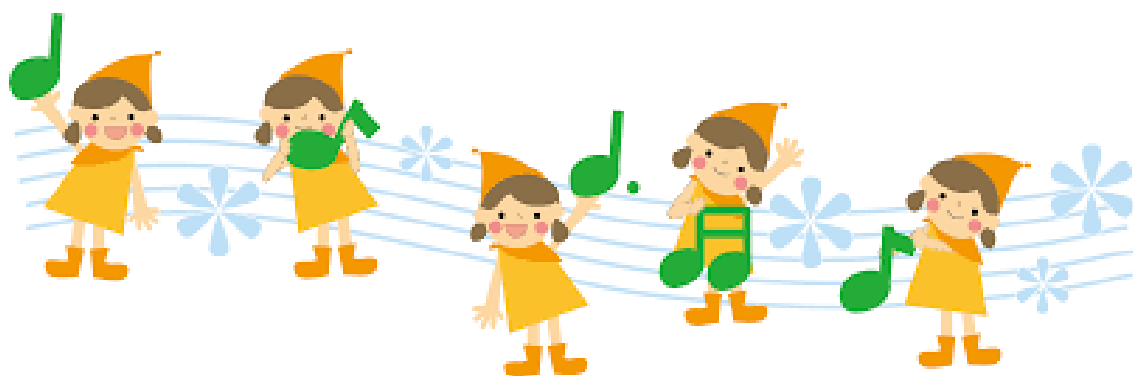


# 亀山市 保幼認共通カリキュラム

第

3

版

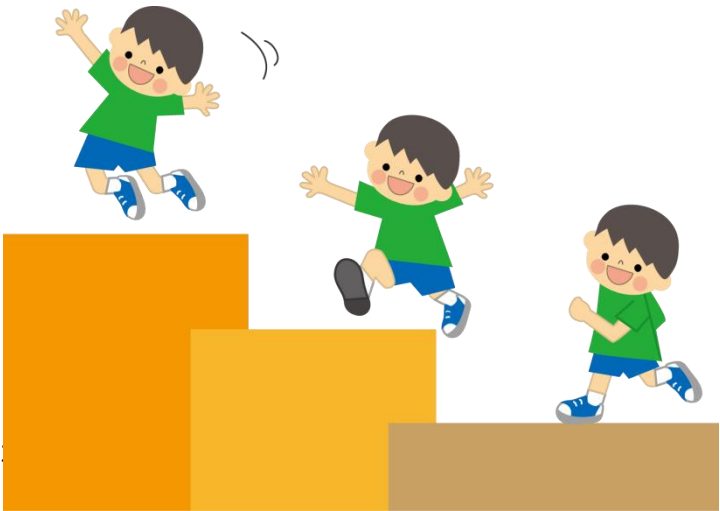




# 目 次

## 亀山市保幼認共通カリキュラム

カリキュラム作成および改訂の経緯	1
カリキュラムの項目について	2
カリキュラム作成上の留意点について	3
カリキュラムの活用方法	3
子どもたちに身に付けさせたい3つの力	4
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）	7
★2歳児終了時までのポイント	9
★3歳児前半期のポイント	10
★3歳児後半期のポイント	13
★4歳児前半期のポイント	16
★4歳児後半期のポイント	19
★5歳児前半期のポイント	22
★5歳児後半期のポイント（アプローチカリキュラム）	25



# 亀山市保幼認共通カリキュラム

## カリキュラム作成および改訂の経緯

子どもは、未来の社会を担う大切な宝物であり、心豊かでたくましく生きる力を身に付けるためには、幼児期からの教育を充実させることが極めて重要です。

そこで、「亀山市保幼小中等連携協議会」を平成24年5月より開催し、家庭教育に関する課題、幼児教育の課題、小学校との接続の課題、さらには3歳から15歳（中学校3年生）の子どもたちの健やかな成長に関する課題等について話し合いを進めてきました。

そして、平成27年3月に、「亀山市保幼小中等連携協議会カリキュラム検討部会」が中心となり、「亀山市保幼小接続カリキュラム」を策定しました。小学校入学時の接続を円滑に行うため、入学前5カ月と入学後4カ月の9ヶ月間を「接続期」とし、保育所・幼稚園と小学校において、それぞれの時期の子どもたちに身に付けさせたい力や、子どもたちが「段差」を乗り越えるために保育者・指導者が配慮・工夫すべきこと等について明記しています。

平成28年3月には、さらにその前の段階にあたる、3歳～5歳児前半までの保育・教育のあり方について、市内の保育所・幼稚園双方の専門性を生かし合い、一体的な指導を行うための「保幼共通カリキュラム」を作成いたしました。これは、市内の保育所と幼稚園が同一のカリキュラムをもとに、各年齢段階で身に付けたい力の目安を明確にして保育・教育を行うことを目的とするもので、既存の「亀山市保幼小接続カリキュラム」に続いていきます。これにより、3歳から小学校1年生の前半までをつなぐ「亀山市幼児教育共通カリキュラム」が完成し、保育士・幼稚園教諭、保育教諭、小中学校教職員が連携して、一貫した指導を行うための基礎が整いました。

この「保幼共通カリキュラム」をもとに保育所・幼稚園・認定こども園で実践を進めながら、平成29年に保育をする中で見えてきたこと、実際の子どもの様子、保育者が関わる時の留意点などについて、「保幼共通カリキュラム」の表現内容に修正を加え、改訂を行いました。

さらに、平成29年の幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂を受け、今回、保幼認小連携の円滑な推進のための視点である「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した形に修正をし、新しく2歳児終了までの姿を追加しました。幼児期の終わりの5歳児のみ取り組みを進めるのではなく、3歳児、4歳児も同様に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置きながら保育を行う必要があることに留意しています。



#### ※カリキュラム作成上の留意点について

① 「生活」カテゴリーの「環境への適応 一日の生活の流れ」の項目は3歳児までではなく、4歳児以降に入っています。2・3歳児は、他者との関係が「先生と私」から、「先生と私と友達」、「私と友達」へと徐々に発達していくため、「担任や身近な人々との関係づくり」や、「基本的な生活習慣」の項目で、園生活に慣れる部分（環境への適応）を表記できると考えました。また、4歳児、5歳児は、昨日、今日、明日といった時間の流れがわかってきます。特に5歳になると、一日の園生活を把握し、自分から次の行動に移ったり、時間を意識して見通しを持って生活したりするなど、小学校へのアプローチを意識した行動が芽生えてきます。このような点から、「環境への適応 一日の生活の流れ」の項目を4歳児以降に入れました。

② 「生活」カテゴリーの中で、3歳児までは「基本的な生活習慣」、4歳児は「基本的な生活習慣（身の回りの始末）」、5歳児は「身の回りの始末」と、項目表記を変えています。

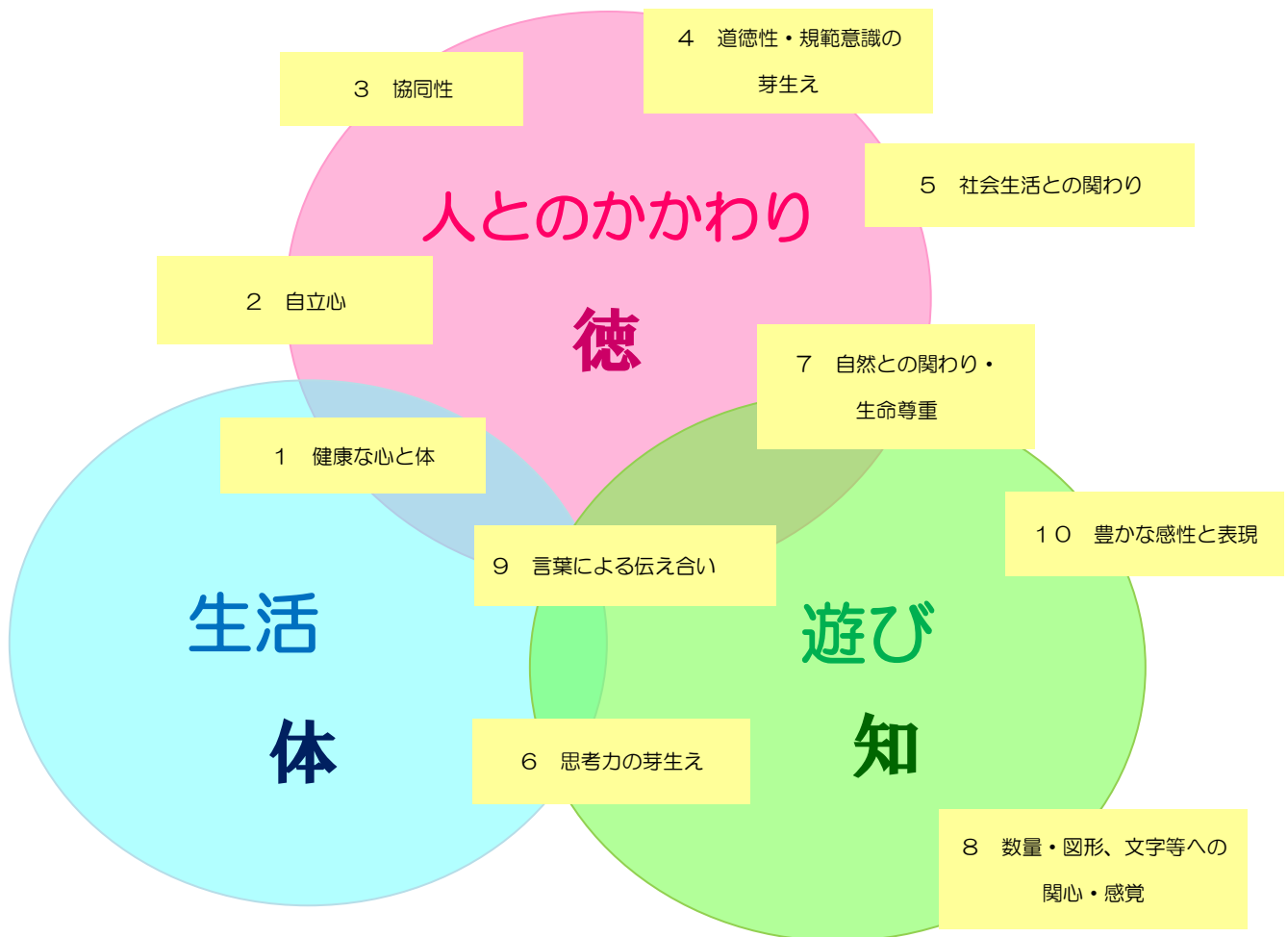
まず、3歳児までは、基本的な生活習慣を確立することを第一に考え、簡単な身の回りの始末、清潔、着脱などの生活習慣を全て一括りにして押さえることにしました。そして、年齢が高くなるにつれて、身の回りの始末へと移行できるように意図して、項目表記をしました。

③ 「運動」に関する表記については以下のような表記をしています。4歳児までは「生活」カテゴリーの中に、「運動・安全」という項目があります。5歳児は、さらに「遊び・学び」カテゴリーの中にも、「運動・表現」という項目を入れました。「運動・表現」の項目は、学級全体で行う体育の授業のような運動遊びを対象としています。これは、5歳児（特に後半）の運動遊びを、小学校の体育科の授業につなげていけるよう意図したためです。

#### カリキュラムの活用方法

- ・本カリキュラムは、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を基に作成し、亀山市版としてより具体的に示したものです。小学校接続へのアプローチカリキュラム（5歳児11月～）に段差なくつながっていくように考えて作成しました。1年間を5期にわけて作成し、それぞれの年齢の終了時にめざす幼児の姿を掲げ、育ちを検証できるようにしました。
- ・本カリキュラムに書いてあることは、一つの目安として作成してあります。各保育所（園）・幼稚園・認定こども園で独自の保育・教育課程や指導計画作成の際、基本にしていただくものであり、各園の特性や地域性にあわせて柔軟に取り入れてください。
- ・下線部分は、養護の観点を重視すべき部分です。

## 子どもたちに身に付けさせたい3つの力



### ～ 3つの力と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)との関わり ～

子どもたちに身に付けさせたい力を大きく3つ掲げ、それらを幼児教育の特徴（幼児期では、特に様々な活動が身体の発達に大きく影響し、健康な心や体が最も重要である）を踏まえた上で、「体・徳・知」の順に示しました。この3つの力を柱として、亀山市の幼児教育を推進していくこととします。

子どもたちに身に付けさせたい3つの力

1 生活

体

健康な心と体で生活できる力

2 人とのかかわり

徳

相手の気持ちや状況がわかり、楽しく活動し、協力できる力

3 遊び

知

自分で考え、意欲的に遊び、学べる力

1 生活

体

「健康な心と体で生活できる力」

幼児期は、体を動かす気持ちよさを体験することから、自ら体を動かそうとする意欲が育つと言われています。様々な遊びの中で幼児が興味や関心、能力に応じて全身を使って活動することにより体を動かす楽しさを味わい、その中で、自分や友だちの体を大切にしようとする気持ちが育っていきます。幼児期は、様々な活動を通して、身体諸機能の調和的な発達を促し、心と体の健康が育成される重要な時期です。

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、亀山市の子どもたちや子どもを取り巻く課題が多岐にわたっていることがわかってきました。「走る、跳ぶ」などの基本的な能力の低下、外遊びを楽しむ時間の減少、ゲームをする時間の増加など、運動習慣や生活習慣等の課題が大きくなっています。

幼児期は、「神経機能の発達が著しく、5歳ころまでに大人の約8割程度まで発達する時期」といわれており、運動を調整する能力が伸びる特に重要な時期です。幼児期から、運動の習慣付けや発達特性をとらえた運動遊びを段階的・計画的に保育や教育に取り入れていくことが大切です。

また、基本的な運動習慣の形成を図るとともに、自分の体を大切にしたり身の回りを清潔で安全なものにしたりする等、生活に必要な習慣や態度を園生活の中で自然に身に付けられるよう、家庭や地域も一体となって取り組む必要があります。

2 人とのかかわり

徳

「相手の気持ちや状況が分かり、  
楽しく活動し、協力できる力」

幼児は、集団生活を通して、人とのかかわりを深め、規範意識が芽生えるといわれています。保育者との信頼関係に支えられ自己を発揮し、互いに思いを主張したり、折り合いをつけたりする体験を通して、集団のきまりの必要性などに気付き、自分の気持ちを調整する力や統制する力、判断する力も育っていきます。



友だちと積極的にかかわりながら喜びや悲しみを共有・共感したり、相手の気持ちに寄り添ったり、友だちと一緒に活動する楽しさを味わったりする等の体験は、社会の中で生きる幼児にとって大変重要です。様々な体験を通して、友だちと試行錯誤しながら活動を展開したり、共通の目的を実現させたりする楽しさや喜びを味わえるよう、環境設定することが必要です。

### 3 遊び

知

### 「自分で考え、意欲的に遊び、 学ぶ力」

幼児は、様々な遊びの中で周囲の世界に好奇心を抱き、興味や関心をもつようになります。その中で、幼児が物事の法則性に気づいたり、自分なりに考えたりできるように仕組むことで、学ぶ力が培われていきます。

保育者は、日常生活の中で幼児主体の必要感に基づく体験を大切にして、数量や文字などに関する興味や関心、感覚を養い、育んでいくことが大切です。また、本市の持つ自然の豊かさや美しさ等に直接触れる体験を通して、幼児の心身の安定や豊かな感性や好奇心、思考力、表現力、知識の基礎等が培われるよう意識して、保育の在り方を考えていく必要があります。

さらに、心と体の健康は相互に密接な関係があることを踏まえ、幼児が保育士や教員、他の幼児との温かいふれ合いの中で自己有用感を高めることを基盤として、健康な心と体で意欲的に遊び学べる力を育て、幼児が豊かに自己表現できるように配慮していくことが大切です。



## 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

平成29年度「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」及び、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が改訂されました。幼児教育で育まれた資質・能力を踏まえて小学校教育が円滑に行われるよう、接続を図ることが求められています。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」は従来の5領域を具体的な姿として現したもので、この姿を園と小学校で共有化し、さらに連携を進めていくことが重要です。

### 1 健康な心と体

園生活の中で充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

### 2 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

### 3 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

### 4 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

### 5 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共に施設を大切に利用するなどし

て、社会とのつながりなどを意識するようになる。

## 6 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気づいたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

## 7 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にしたい気持ちをもって関わるようになる。

## 8 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

## 9 言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに楽しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

## 10 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。



## ★2歳児終了時のポイント

		2歳児終了時のめざす姿	
ねらい		○保育者などとの安定したかかわりの中で、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。	
生活	健康 健康な心と体で生活できる力	運動・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に戸外で好きな遊具や用具などを使って遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ。</li> <li>・順番を守る、遊具の貸し借りなど、集団生活に必要な簡単な決まりを守ろうとする気持ちが芽生える。</li> </ul>
		基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの物の始末や片付けなど、保育者と一緒にしようとする。</li> <li>・身の回りを清潔に保つ心地良さを感じ、手洗いなどの習慣が少しずつ身に付く。</li> <li>・保育者の見守り中、簡単な衣類（衣服や靴下、帽子等）や靴など一人で着脱しようとする。</li> <li>・保育者に見守られながら、安心して午睡や休息を取る。</li> </ul>
		食事・排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な食品や調理形態に慣れ、ゆったりとした雰囲気の中で食事や間食を楽しむ。</li> <li>・スプーンやフォークを3本指でもって食べるようになる。</li> <li>・便器での排泄に慣れ、大人に見守られながら少しずつ自分でできるようになる。</li> </ul>
人のかかわり	人間関係 相手の気持ちや状況がわかり、楽しく活動し、協力できる力	意識規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをしたり、されたりする心地良さを感ずる。</li> <li>・生活に必要な簡単なきまりを知る。</li> </ul>
		話し合う・聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友だちの言葉や話などに、親しみをもって聞こうとする。</li> <li>・したいこと、してほしいことを言葉で伝えたり、分からないことを尋ねたりする。</li> <li>・言葉のやりとりを通して身近な人のかかわりを楽しもうとする。</li> </ul>
		友だちとの関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友だちとの安定した関係の中で、共に過ごす心地良さを感ずる。</li> <li>・生活や遊びの中で異年齢児や保育者などの真似をしたり、ごっこ遊びをしたりすることを楽しむ。</li> <li>・保育者や友だちに親しみを持ち、自分からかかわろうとする。</li> </ul>
		担任や身近な人々との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の受容的、応答的なかかわりを通して、自分の考えや思いが受け止められたことを喜ぶ。</li> </ul>
遊び・学び	環境 言葉 表現 自分で考え、意欲的に学べる力	学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な小動物や草花を保育者とともに見たり触れたりして、興味や関心をもつ。</li> <li>・生活や遊びの中で身の回りのものの色や数、量、形、音などに興味をもち、違いに気付く。</li> <li>・家庭や園、地域で行われる季節の行事などに興味や関心をもつ。</li> <li>・絵本や話、紙芝居などを楽しんで見たり聞いたりする。</li> </ul>
		表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水や砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。</li> <li>・歌を歌ったり、簡単な手遊びや全身を使う遊びを楽しんだりする。</li> </ul>
家庭との連携		共に一人ひとりの子どもの成長を願い、共通理解のもとに連携し合える関係をつくり上げる。	

## ★3歳児前半期のポイント

		3歳児 4～5月	
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○喜んで登園し、園での生活の仕方を知る。</li> <li>○保育者に親しみをもち、安心して過ごす。</li> <li>○新しい環境に慣れ、気に入った場や遊具、用具などで遊ぼうとする。</li> </ul>	
生活	健康	運動・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に、戸外で好きな遊具や用具などを使って遊ぶことを楽しめるようにする。</li> <li>・園内の生活や遊びの場について、安全に使ったり過ごしたりするための仕方を伝えるようにする。</li> <li>・遊具や用具などの使い方を伝え、保育者に見守られながら安全に遊べるようにする。</li> </ul>
		基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喜びや不安を受け止め、温かく接しながら新しい環境に慣れ、安心して過ごせるように援助する。</li> <li>・安心して休息できる雰囲気やスペースを確保し、心身の疲れを癒すことができるように援助する。</li> <li>・食前や排泄後、戸外遊び後などには、手洗いなどをするを伝え、保育者と一緒に行いながらしようとする気持ちを育てていくようにする。</li> <li>・必要に応じて保育者に手伝ってもらいながら、衣服の着脱などができるようにする。</li> <li>・持ち物の始末は、保育者と一緒に行いながら身に付くようにする。</li> <li>・自分の持ち物の始末をする場所にシールや絵カードを貼るなど、環境を工夫し、子どもが自分で始末しやすいようにする。</li> </ul>
		食事・排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の好みや食べられる量を把握し、保育者と一緒に楽しい雰囲気の中で食事ができるようにする。</li> <li>・食前、食後のあいさつや食事中は立ち歩かないなど、食事にマナーがあることを伝えていく。</li> <li>・食物アレルギーのある子への対応をしっかりと把握しておき、職員間で共通理解をして対応する。</li> <li>・トイレの場所が分かり、繰り返し経験することで安心して排泄できるようにする。</li> <li>・一人ひとりの排泄の間隔を把握し、トイレに誘ったり排泄の仕方を伝えたりしていく。</li> </ul>
人とのかかわり	人間関係	意識規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者から元気にあいさつをして、あいさつをされる心地よさを感じられるようにする。</li> <li>・みんなで過ごすために必要な約束やきまりに気付いていけるようにする。(順番、遊具の貸し借りなど)</li> </ul>
		聞く・話す・伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが安心して話せるような雰囲気をつくり、それぞれの思いを十分に受け止めるようにする。</li> <li>・あいさつや返事など生活や遊びに必要な言葉を伝えていく。</li> <li>・したいことやしてほしいこと、困ったことや分からないことなど、表情や動作で伝えられるようにしていく。</li> </ul>
		友だちとの関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が楽しく遊んでいる姿を見せたり、遊び方を伝えたり、誘いかけたりすることで一緒に遊ぶ楽しさを伝えていくようにする。</li> <li>・友だちと一緒に遊ぶ楽しさを保育者が仲立ちとなって伝えていく。</li> </ul>
		担任や身近な人々との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとの信頼関係を築くことの重要性を認識し、園を楽しいと感じて安心して過ごせるように一人ひとりの気持ちに寄り添い、心のつながりをつくっていくようにする。</li> </ul>
遊び・学び	環境言葉	学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な小動物や草花を保育者とともに見たり触れたりして、親しみがもてるように環境を整えていく。</li> <li>・繰り返しのある内容や短い物語の絵本や紙芝居などを選び、一緒に見る楽しさを味わえるようにしていく。</li> </ul>
		表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味をもった遊具や遊び、場所などを見つけられるように環境を整えていく。</li> <li>・簡単な手遊びをしたり、知っている歌をロずさんだりして、保育者や友だちと一緒にする楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の不安な気持ちを理解し、生活の仕方やきまりなどをその都度でいねいに伝えていく。また、家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたりして、安心感をもってもらい、信頼関係を築いていく。</li> <li>・保護者会や懇談会、たよりなどを通して、園の方針やクラスの目標を伝え、理解を求めるとともに園と協力して子育てしていくことの大切さを伝えていく。</li> <li>・現在治療中の病気やアレルギー、発育、発達状態などを把握し、保護者と連絡を密にしておく。</li> </ul>	

		3歳児 6～8月	
ねらい		<p>○園での生活の仕方が分かり、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</p> <p>○保育者や友だちに関心をもち、かかわろうとする。</p> <p>○身近な動植物や夏ならではの自然を見たり触れたりする。</p>	
生活	健康	安全・運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏ならではの遊びの中で、保育者や友だちと一緒に体を動かす楽しさや解放感を味わえるようにする。</li> <li>子どもの健康状態を把握しておき、異常を感じたときは的確に対応できるようにし、体調管理に努める。</li> <li>生活や遊びの中で、簡単なきまりや約束事を伝え、安全に過ごせるようにする。</li> </ul>
		基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>梅雨や夏の間は衛生管理を十分にを行い、子どものもつ生活リズムに沿いながら、活動と休息などの調和を図り、一人ひとりが健康に過ごせるように援助する。</li> <li>手洗いやうがい(歯みがき)などの順序や方法を繰り返し伝えていねいに伝え、衛生的な生活ができるように援助する。</li> <li>汗をかいたり、汚れたり、濡らしたりしたときは、拭いたり着替えたりすることを伝え、きれいになった気持ちよさに気付いていけるように働き掛ける。</li> <li>シャツやズボンなど簡単な衣服は、自分で着脱できるよう、言葉をかけたり援助をしたりしていく。</li> <li>持ち物の始末は、個人差に配慮し、温かく見守りながら自分でしようとする気持ちを大切にしていく。</li> <li>遊んだ後は、保育者と一緒に片付け、きれいになった心地よさが感じられるようにしていく。</li> </ul>
		食事・排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>涼しい環境を準備し、一人ひとりの食事の量や食べる時間に配慮し、好き嫌いなどを把握しながら、保育者や友だちと楽しく食べられるようにする。</li> <li>園で育てている夏野菜の生長を見たり触れたりすることで、食べ物への興味をもてるようにする。</li> <li>ペーパーやスリッパなどのトイレの使い方を伝え、安心して排泄できるように見守っていく。また、失敗したときは不安にならないような配慮を心掛ける。</li> </ul>
人とのかかわり	人間関係	意規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友だちにあいさつをしようとする気持ちを育てていくようにする。</li> <li>みんなで過ごすために必要な約束やきまりを繰り返し伝え、気付いていけるようにする。</li> <li>身近な動植物に触れたり、保育者と一緒に世話をしたりする中で、小さな生き物にも命があることに気付いていけるようにする。</li> </ul>
		伝え合う・聞く・話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>「入れて」「貸して」「ありがとう」など、生活や遊びに必要な言葉を保育者と一緒に使うことで、人とかかわるときに必要な言葉があることを伝えていくようにする。</li> <li>自分の思いを出すことを大切に、自分の要求を言葉や動作で伝えられるようにしていく。</li> </ul>
		友だちとのづくり関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具や用具などの取り合いやトラブルの場面では、一人ひとりの気持ちを受け止めるとともに、子どもの気持ちを言葉に表しながら、譲ったり我慢したりできるようにしていく。</li> <li>友だちと一緒にする楽しさが感じられるような活動を取り入れていく。</li> </ul>
遊び・学び	環境言葉表現	学芽の生え	<ul style="list-style-type: none"> <li>飼育物や栽培物に興味をもち、見たり触れたりする環境をつくっていく。</li> <li>砂や水、泥などに触れ、感触を楽しんだり解放感を味わったりできるようにする。</li> <li>絵本や紙芝居などに興味をもって、みんなと一緒に見たり聞いたりできるようにしていく。</li> </ul>
		表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味をもった遊具や遊びを見つかったり、好きなものに見立てたり、なりたいたものになったりして遊ぶことができるようにその思いを受け止め、自分なりの楽しみ方ができるようにしていく。</li> <li>保育者や友だちと一緒に手遊びやリズム遊び、簡単な表現遊びを楽しめるようにしていく。</li> </ul>
		家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>園だよりや掲示板などで夏の感染症などについて知らせ、早期対応の必要性を知らせるとともに、体調の変化について家庭と密に連絡を取り合う。</li> <li>基本的な生活習慣や生活リズムを整えることが、子どもの健康な体をつくるために大切なことを伝えていく。</li> <li>友だちとのかかわりが多くなるといざこざも増えるが、保護者の不安な思いを受け止めながらも、人とかかわりを学ぶ大切な機会であることを伝えていくようにする。</li> </ul>

		3歳児 9～10月	
ねらい		<p>○園生活の中で、自分で身の回りのことをしようとする。</p> <p>○興味のある遊びを楽しんだり、保育者や友だちとかかかわって遊んだりして、楽しさを味わう。</p> <p>○体を動かすことの気持ちよさを感じたり、みんなと一緒にすることを楽しんだりする。</p>	
生活	健康	安全・運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友だちと一緒に、戸外で十分に体を動かす心地よさを味わえるようにする。</li> <li>・いろいろな運動用具を使った遊びを取り入れ、運動遊びを楽しめるようにする。</li> <li>・遊具や用具などの安全な使い方に気付いていけるようにし、きまりを守って遊べるようにする。</li> </ul>
		基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温や運動量に合わせ、十分な水分補給や適度な休息をとり、心身の調子を整えられるように援助する。</li> <li>・袖をめくるなど衣服の扱いに気を付けながら、ていねいな手洗いやうがい、歯みがきができるように一人ひとりに応じた働きかけをする。</li> <li>・衣服の前後や表裏、靴の左右を伝え、自分で気付いていけるようにする。</li> <li>・裏向きに脱いだ衣服を表に戻す仕方やボタンのかけはずしを保育者と一緒に行う中で、身に付けていけるようにする。</li> <li>・身の回りの物の始末や遊びの片付けなど、自分からしようとする姿を見守り、自分でできたときには一緒に喜び、気持ちよさを十分に受け止めていく。</li> </ul>
		食事・排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を十分に動かして遊び、おいしく食事ができるようにする。</li> <li>・絵本や紙芝居などを通していろいろな食材があることを伝え、食べてみようとする気持ちを育てる。</li> <li>・一緒に食事をする中で、保育者が正しい箸の使い方を見せながら、無理なく使うことにつなげていくようにする。</li> <li>・食事の準備や片付けの仕方が分かり、自分でしてみようとする姿を見守っていく。</li> <li>・排便後の始末の仕方を手伝いながら伝え、身に付けていくようにする。</li> </ul>
人とかかわり	人間関係	意識規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来園者や地域の方に保育者と一緒にあいさつができるようにしていく。</li> <li>・園生活や遊びの中で順番や交替があることを伝えていくとともに、簡単なルールのある遊びを通して、きまりの大切さを感じられるようにする。</li> <li>・非常時の避難の仕方について繰り返し伝え、保育者の指示で落ち着いて避難できるようにする。</li> </ul>
		話し合う・聞く・伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「入れて」「貸して」「ありがとう」などの言葉を交わす心地よさを味わえるようにし、自ら使えるようにしていく。</li> <li>・自分の思いや経験した楽しいことを自分の言葉で伝え、聞いてもらう喜びを感じられるようにする。</li> </ul>
		友だちとのづくり関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと同じ動きをしたり、同じ場で遊んだりすることを楽しめるような遊具や用具などを用意していく。</li> <li>・運動遊びやリズム遊びを通して、みんなと一緒に遊ぶ楽しさが感じられるようにする。</li> <li>・友だちや異年齢児の遊びに関心をもち、仲間に入ったり、一緒に動いたりすることを楽しめるようにする。</li> </ul>
		担任や身近な人とのづくり関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者にしてほしいことや困っていることを、言葉やいろいろな方法で伝えることができるような関係をつくっていく。</li> <li>・保育者や友だちと同じ場で過ごしたり、同じ動きをしたりする楽しさを味わう中で、人と共にいることの喜びを感じられるようにしていく。</li> </ul>
遊び・学び	環境言葉	学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に世話をしている中で、虫や小動物に興味をもてるようにする。</li> <li>・秋の自然素材を活用した遊びが経験できるようにする。</li> <li>・絵本や紙芝居などを見たり聞いたりする中で、面白さや楽しさに気付けるようにする。</li> </ul>
		表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味をもったことや自分のしたいことを繰り返し楽しめるようにしていく。</li> <li>・自分なりのイメージをもって、ごっこ遊びを楽しめるように環境を整え、遊びが充実しているようにする。</li> <li>・曲に合わせて歌ったり、身体を動かしたりして表現する楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・友だちと同じものをつくらしたり、見立て遊びをしたりするを通して、かくことやつくることなどを楽しめるようにしていく。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で行事に参加して、一緒に楽しみながら子どもの成長を感じたり、親子の触れ合いの大切さを感じてもらったりする。</li> <li>・運動量が多い時期なので、体調管理や健康に過ごす生活習慣を心がけてもらう。</li> <li>・食事の量や偏食、箸使用への移行などについて家庭と連携を図っていく。また、簡単な食事のマナーを家庭でも身に付けてもらうように働きかけていく。</li> </ul>	

## ★3歳児後半期のポイント

		3歳児 11～12月	
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○園生活の中で自分でできることは進んでしようとする。</li> <li>○自分の思いを出して遊び、保育者や友だちと気持ちがつながる楽しさを感じる。</li> <li>○自分なりの表現を保育者と一緒にしようとする。</li> </ul>	
生活	健康な心と体で生活できる力	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>運動・安全</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なルールのある遊びをしたり、身近な遊具や用具などを使った運動遊びをしたりする中で、保育者や友だちと一緒に体を動かす楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・園外散歩に出かけて、歩く習慣を身に付け、最後まで歩くことができるようにする。</li> <li>・病気の予防について伝え、徐々に必要な習慣が身に付けられるように援助する。</li> <li>・生活や遊びの中で、安全に過ごすことの大切さに気付いていけるようにする。</li> </ul> </li> <li><b>基本的な生活習慣</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの健康に気を付け、体調に合わせて衣服を調節し、できるだけ薄着で過ごすことができるように援助する。</li> <li>・手洗いやうがいを怠らないこと、病気の予防になることを伝え、保育者も一緒に行いながら、毎日の習慣となるように援助する。</li> <li>・ボタンやファスナーなどの扱いは個人差が大きいため、見守ったり手伝ったりして、一人ひとりのペースに合わせてかかわっていくようにする。</li> <li>・身の回りの始末や片付けなどは、できるだけ子どもが自ら気付いて行動できるよう、時間にゆとりをもちながら進め、自分でできた喜びにつなげていく。</li> </ul> </li> <li><b>食事・排泄</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の姿勢や器に手を添える、主食とおかずを交互に食べるなど、正しい習慣が身に付いていくようにする。</li> <li>・個々に合わせて、箸を使って食べてみようとする姿を大切にしていける。</li> <li>・排泄後の始末の仕方を伝え、安心して自分からしようとする気持ちをもてるよう見守ったり、手助けしたりする。</li> <li>・トイレをきれいに使うこと(スリッパをそろえる、ペーパーを上手に使う、水を流すなど)を、繰り返していねいに伝えて、身に付いていくようにする。</li> </ul> </li> </ul>
		人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>規範意識</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に必要なあいさつを知り、保育者と一緒にあいさつができるようにしていく。</li> <li>・自分の物とみんなが使う物の違いに気付くことができるようにし、大切に使えるようにする。</li> <li>・交通ルールが分かり、守ろうとする気持ちを育てていく。</li> <li>・簡単なゲーム遊びなどを取り入れ、保育者も共に遊びながら、ルールを守って遊ぶ楽しさを伝えていく。</li> </ul> </li> <li><b>伝え合う・聞く・話す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友だちに思いを伝えたり、受け止めてもらえたりする喜びを感じ、親しみをもって保育者や友だちの話を聞けるようにする。</li> <li>・遊びや会話の中で言葉のやり取りを楽しみながら、生活や遊びに必要な言葉を豊かにしていく。</li> </ul> </li> <li><b>友だちとの関わり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友だちとかがわかるように、コーナーや遊びの場の配置に留意し、安心して遊べるようにする。</li> <li>・保育者と一緒にごっこ遊びや簡単な集団遊びなどをする中で、みんなで遊ぶ楽しさを感じられるようにする。</li> <li>・自己中心的な思いでトラブルになるときは、子どもの気持ちを十分に受け止めて安定させたり、相手にも思いがあることに気付けるよう、仲立ちしていく。</li> </ul> </li> <li><b>担任や身近な人々との関わり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に自分の思いや見たこと、したことなどを、話したり伝えたりできるようにしていく。</li> <li>・保育者との心のつながりを深め、さらにそれを子ども同士の温かい心のつながりへと育てていくようにする。</li> <li>・行事や施設開放などを通して、地域の人たちとかがかわる中で様々な人に関心をもてるようにする。</li> </ul> </li> </ul>
		遊び・学び	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>環境言葉</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の自然に親しみ、興味をもって見たり触れたりし、遊びに取り入れて楽しめるようにする。</li> <li>・絵本や紙芝居などを繰り返し見たり聞いたりする中で、言葉の音がつまみやすさや繰り返すリズムの面白さを感じられるようにする。</li> </ul> </li> <li><b>表現</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見たことやつくったものなどを見立てたり、なりきって遊んだりする姿をしっかり受け止め、安心して自分を表現できるようにしていく。</li> <li>・音楽やリズムに関心をもち、音や身体で自分なりの表現を楽しめるようにする。</li> <li>・自分なりのイメージをもって、身近な素材で好きなものをつくることを楽しめるようにする。</li> </ul> </li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒さに向かった健康管理(衣服の調節、うがい、手洗い、生活のリズムなど)の方法と必要性を伝えていく。</li> <li>・行事や遊びを経験する中で、一人ひとりの成長の様子を知らせ、一緒に喜び合うようにする。また、成長には個人差があることを伝え、保護者が子どもの成長に見通しや期待がもてるように伝えていく。</li> </ul>	



		3歳児 1～3月	
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣や身の回りのことが身に付き、進級することへの期待をもつ。</li> <li>○自分の思いをいろいろな方法で表しながら友だちと一緒に遊んだり、触れ合ったりすることを楽しむ。</li> <li>○感じたことや思ったことを、自由に表現することを楽しむ。</li> </ul>	
生活	健康な心と体で生活できる力	健康	<p><b>安全・運動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寒くても戸外に出て、保育者や友だちと一緒に体を動かして遊ぶことを楽しめるようにする。</li> <li>・戸外で遊んだり、身近な遊具や用具などを使って遊んだりすることを通して、いろいろな体の動きを楽しめるようにする。</li> <li>・一人ひとりの健康状態を把握し、体調の変化に気付いたときは適切な対応をする。また、自分から保育者に知らせよう働きかけていく。</li> <li>・生活や遊びの中にある安全に過ごすためのきまりが分かり、守ろうとする気持ちを育てていく。</li> </ul> <p><b>基本的な生活習慣</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自らしようとする気持ちを大切に、自分でできた満足感を進級する喜びへとつなげていくようにする。</li> <li>・保育者が声をかけながら丁寧に手洗いやうがいなどを行ったり、自分からしようとしたりする気持ちになるように見守っていく。</li> <li>・保育者が防寒着や防寒具の片付けやすい場所や片付け方を工夫し、子どもが自分で始末できるようにしておく。</li> </ul> <p><b>食事・排泄</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手な物が少しでも食べられたときには褒め、いろいろな食べ物を食べる楽しさが味わえるようにする。</li> <li>・保育者や友だちと一緒に食べることを楽しさを通して、あいさつや姿勢など一人ひとりに応じた言葉がけをしていく。</li> <li>・尿意や便意を伝え、一人で排泄できたときは認めて自信につなげていく。</li> </ul>
		人間関係	<p><b>意規範</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なあいさつがあることを伝え、保育者と一緒にあいさつができるようにする。</li> <li>・みんなで使う物があることが分かり、一緒に使おうとする気持ちもてるようにする。</li> <li>・保育者と一緒に簡単なルールのある遊びをする中で、ルールを守って遊ぶ楽しさを感じられるようにする。</li> </ul> <p><b>伝え合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちや困っていること、してほしいことなどを自分なりの言葉で相手に伝えることができるようにする。</li> <li>・保育者や友だちの話に興味をもてるように、保育者が工夫や援助をしながら、話を聞くことの大切さを伝えていく。</li> </ul> <p><b>友だちとのづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや動きを出しながら、みんなで活動することの楽しさを十分に感じとっていきけるようにする。</li> <li>・友だちとのかわりを通して相手の気持ちに気付いたり、友だちのしていることに興味をもったり、真似をしたりして、一緒に遊ぶ楽しさが経験できるようにしていく。</li> </ul> <p><b>担任や身近な人とのづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に励まされながら様々なことに取り組み、できたことを喜んで認められたりすることで、大きくなったことを感じられるようにする。</li> <li>・保育者や身近な人とのかわりの中で安心し、安定した園生活を過ごして、進級することに期待もてるようにしていく。</li> </ul>
		遊び・学び	<p><b>環境言葉</b></p> <p><b>学びの芽生え</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然に触れて遊ぶ機会をもち、驚いたり不思議に思ったりなど、冬から春への季節の変化や自然現象に興味をもってかわかれるようにする。</li> <li>・身の回りにあるものの数や形、違いや順番などに興味をもてるようにする。</li> <li>・絵本や紙芝居などに親しみをもち、イメージを楽しみながら、話の内容や言葉の面白さに気付けるようにしていく。</li> </ul> <p><b>表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したことや絵本などの話をもとに自分のイメージで身体を動かし、表現する楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・いろいろな曲に興味をもち、みんなと一緒に音や身体で表現する楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・身近にある素材や材料を自分なりに選び、つくることを楽しんだり、それを使って遊んだりしていく。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の感染症が流行しやすい時期なので、家庭でも十分に手洗いやうがいなどを行ってもらうように伝えていく。</li> <li>・一年間の園生活を保護者と共に振り返り、子どもの成長と一緒に喜び合う。</li> <li>・進級に向けて保護者の不安な気持ちに寄り添い、必要に応じて対応していく。</li> </ul>	

		3歳児終了時の めざす幼児の姿	
ねらい		◎園生活を楽しむ中で、基本的な生活習慣を身に付けたり、保育者や気の合う友だちと一緒に、いろいろな遊びに取り組もうとしたりする。	
生活	健康な心と体で生活できる力	健康	<p><b>安全・運動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な遊具や用具などを使い、十分に体を動かして遊ぼうとする。</li> <li>・体の異常について、自分から保育者に伝えようとする。</li> <li>・遊具の安全な使い方が分かり、気を付けて遊ぼうとする。</li> </ul> <p><b>基本的な生活習慣</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鼻をかむ、顔や手を洗うなど、体を清潔にしようとする。</li> <li>・衣服や帽子などの着脱を順序よくしようとする。</li> <li>・身の回りの物の始末や片付けなど、自分のことは自分でしようとする。</li> </ul> <p><b>食事・排泄</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなと楽しく食事をする中で、様々な物を少しずつ食べようとする。</li> <li>・食事のマナーを知り、箸を使って食べようとする。</li> <li>・トイレには適宜一人で行き、自分で排泄をしようとする。</li> </ul>
		人間関係	<p><b>規範意識</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に必要なあいさつをしようとする。</li> <li>・生活や遊びに必要な簡単なきまりを知ったり、気付いたりする。</li> <li>・遊びの中でルールや約束を守ること、楽しく遊ぼうとする。</li> <li>・安全についてや緊急時の行動の仕方を分かってもらう。</li> <li>・身近な動植物に関心をもち、大切に関わろうとする。</li> </ul> <p><b>伝え合う・聞く・話す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思ったことや感じたことを言葉で伝えたり、親しみをもって保育者の話を聞いたりしようとする。</li> <li>・生活や遊びの中で必要な言葉に気付き、使おうとする。</li> </ul> <p><b>友だちとのづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友だちと一緒に楽しんで活動しようとする。</li> <li>・自分の思いを出しながら保育者や友だちとかわり、触れ合って遊ぼうとする。</li> <li>・異年齢児の遊びに関心や憧れをもち、仲間に入ったと一緒に遊んだりすることをしようとする。</li> </ul> <p><b>担任や身近な人とのづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・したことや感じたことを保育者に受け止めてもらうことで、安心感をもつようになる。</li> <li>・身近な人々と触れ合うことをしようとする。</li> </ul>
		環境	<p><b>学びの芽生え</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然に興味をもってかかわろうとする。</li> <li>・遊びを通して身近なものに触れたり、興味や関心をもったりしようとする。</li> <li>・生活や遊びの中で、身の回りにあるものの数や形、違いや順番などに興味をもつようになる。</li> <li>・絵本や紙芝居などを繰り返し見たり聞いたりすることをしようとする。</li> </ul> <p><b>表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な表現活動をする中で、自分なりの方法で表現することをしようとする。</li> </ul>
遊び・学び		自分で考え、意欲的に学べる力	
家庭との連携		共に子どもの成長を願い、共通理解のもとに、連携し合える関係をつくり上げる。	

## ★4歳児前半期のポイント

4歳児 4～5月		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい環境や保育者に慣れ、生活の仕方を知り、安心して過ごす。</li> <li>○気の合う友だちや保育者と自分の思いを出しながらかかわろうとする。</li> <li>○気の合う友だちや保育者と一緒にいろいろな遊びを楽しむ。</li> </ul>	
生活	健康	
	環境への適応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に慣れて安心して過ごせるよう、園生活の流れを絵カードなどで示したり、言葉をかけて伝えたりする。</li> <li>・遊具や用具などが使いやすいようにマークを付けたり、子どもの動線を考えながらコーナーの配置を工夫したりするなどして、一人ひとりが満足して楽しく遊べるようにしていく。</li> <li>・のびのびと安定した気持ちで生活ができるように、時間や場を構成していく。</li> </ul>
	安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に遊びに参加し、戸外で体を動かして遊ぶ楽しさや面白さを伝えていくようにする。</li> <li>・身近な遊具や用具などを使った運動遊びに誘いかけ、いろいろな動きが経験できるようにしていく。</li> <li>・子どもたちが自分から遊びや活動に取り組めるよう、時間や場を確保する。</li> <li>・危険な場所や遊具、用具などの正しい扱い方を繰り返し伝え、安全に気を付けて生活できるようにする。</li> </ul>
	（身の回り）の始末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いやうがい、歯みがきなどの正しい仕方を伝えたり確認したりして、きれいになる気持ちよさを味わえるようにする。</li> <li>・氣候や活動に合わせて、衣服を調節できるように手順を伝え、身に付くようにする。</li> <li>・身支度や身の回りの物の始末の仕方などを確認しながら、自分でしようとする気持ちが育つようにしていく。</li> </ul>
人とかかわり	健康	
	排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの喫食量や好き嫌いなど個人差に留意しながら、保育者や友だちと一緒に楽しい雰囲気の中で食事ができるようにしていく。</li> <li>・正しい姿勢や箸の使い方などを伝えたり確認したりして、食事のマナーが身に付いていくようにする。</li> <li>・食物アレルギーのある子への対応をしっかり把握しておき、職員間で共通理解をして対応する。</li> <li>・一人ひとりの排泄や後始末の仕方を把握し、個々に応じて手助けをしながら、安心して排泄できるようにしていく。</li> </ul>
	意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名前を呼ばれて返事をしたり、あいさつをしたりする心地よさを感じ、あいさつする習慣が身に付いていくようにする。</li> <li>・簡単なルールのある遊びを取り入れ、きまりを守って遊ぶ楽しさを伝えるようにする。</li> </ul>
	伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが安心して話せるような雰囲気をつくり、保育者や友だちに自分の思いや感じたことを言葉で伝えられるようにする。</li> <li>・思いを十分に受け止めて安定した気持ちで過ごす中で、保育者の話が聞けるようにしていく。</li> <li>・保育者が手本となって、あいさつや返事など生活や遊びに必要な言葉を使うことができるようにしていく。</li> </ul>
遊び・学び	人間関係	
	友だちとの関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者との信頼関係をもとに生活や遊びを進め、友だちとの関係がつながるようにする。</li> <li>・保育者や友だちと一緒に好きな場所や遊びを見つけ、安心して過ごしたり、同じ遊具を使って楽しく遊んだりする中で友だちとのつながりを広げていく。</li> <li>・クラスみんなで一緒に楽しめる遊びを取り入れたり、保育者や友だちとの触れ合いを楽しんだりする中で、同じクラスの友だちとしてかかわり合っているようにする。</li> </ul>
	担任や身近な人々との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが安心して園生活を過ごせるように、それぞれの思いを受け止め、ていねいに寄り添い、信頼関係を築いていく。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春の自然や小動物などを見たり触れたりする機会をもち、興味を深めていけるようにする。</li> <li>・苗を植えたり種をまいたりして、生長を楽しみにしながら世話ができるようにしていく。</li> <li>・絵本や紙芝居などを見たり聞いたりして、ストーリーや言葉の面白さに気付き、楽しめるようにしていく。</li> </ul>
遊び・学び	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で考え、意欲的に学べる力</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でしたいことを見つけて何かのつもりになって遊んだり、興味をもった場や物にかかわり、感じたままを表して遊ぶことができるようにする。</li> <li>・みんなどと一緒に手遊びやリズム遊びなどをして楽しめるようにしていく。</li> <li>・教材や素材に親しみ、使う楽しさや面白さを感じたり、自分なりにかいたり、つくったりしていけるようにする。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化による保護者の不安を受け止め、園での様子を伝えたり、家庭での様子を聞いたりして、安心感をもってもらう、信頼関係を築いていく。</li> <li>・保護者会や懇談会、たよりなどを通して、園の方針やクラスの目標を伝え、理解を求めるとともに園と協力して子育てしていくことの大切さを伝えていく。</li> <li>・現在治療中の病気やアレルギー、発達状態などを把握し、保護者と連絡を密にしていく。</li> </ul>

		4歳児 6～8月		
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活の流れや仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>○友だちや保育者とかかわりながら遊ぶ楽しさを感じる。</li> <li>○小動物や夏ならではの自然事象の不思議さに気付いたり、様々な素材や用具などに興味をもち、取り入れて遊ぼうとしたりする。</li> </ul>		
生活	健康な心と体で生活できる力	健康	<p><b>一日の生活の流れ</b> 環境への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活の流れを知り、自分でできることを進んで行えるよう一人ひとりに応じて関わっていく。</li> <li>・天候や活動などに応じた過ごし方や遊び方について、場面を捉えて具体的に伝えたり、気付けるようにしたりして、健康的な生活が身に付いていくようにする。</li> </ul> <p><b>安全</b> 運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水遊びやプール遊びなどが抵抗なく楽しめるような遊具や用具などを用意し、思い切り発散して遊べるようにする。</li> <li>・水に触れて遊んだり、水の中で様々な動きをしたりして、のびのびと体を動かすことで解放感を味わい楽しめるようにする。</li> <li>・いろいろな運動遊具や用具などを用意し、体のバランスをとったり、動きをコントロールしたりする遊びを経験できるようにしていく。</li> <li>・子どもの健康状態を把握しておき、異常を感じたときは的確に対応する。</li> <li>・体を休めることの大切さを伝え、一人ひとりの体調を見ながら休息や水分補給ができるように援助する。</li> <li>・遊具や用具などの正しい遊び方や扱い方が身に付き、守れるようにしていく。</li> </ul> <p><b>（身の回り）</b> 基本的な生活習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いや歯みがきなどをていねいに行う姿を認めながら、清潔で健康に過ごすことが習慣として身に付くようにする。</li> <li>・衣服の着脱や汗、汚れ物の始末などの手順を伝えたり、必要に応じて手助けをしたりして、自分でしようとする気持ち大切にしていける。</li> </ul> <p><b>排泄</b> 食事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏野菜の生長の様子を見たり、触れたり、収穫したりすることで様々な食べ物に興味をもち、苦手な物でも食べられるようにしていく。</li> <li>・暑さのために食欲が落ちる子には、保護者との連絡を取り合いながら、無理なく食事ができるようにしていく。</li> <li>・楽しく食事を進めながら、噛むことの大切さや食事のマナーなどを伝え、望ましい習慣が身に付いていくようにする。</li> </ul>	
		人間関係	<p><b>意識規範</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつの仕方や言い方を伝えたり、気付けるようにしたりして、自分からあいさつをする習慣が身に付いていくようにする。</li> <li>・生活に必要な約束やきまりを伝え、守ることでみんなが気持ちよく過ごせることを感じられるようにする。</li> <li>・保育者と一緒に動植物の世話をすることで、愛情やいたわりの気持ちを育んだり、命の大切さを感じたりできるようにする。</li> </ul> <p><b>伝え合う</b> 話す・聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えたことなどを安心して話せる雰囲気をつくり、保育者や友だちに言葉で伝える喜びを感じられるようにする。</li> <li>・問いかけに自分なりに考えて答えようとする気持ちを受け止めていく。</li> <li>・保育者や友だちの話に興味や関心をもち、親しみをもって聞けるようにする。</li> </ul> <p><b>友だちとの</b> づくり関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの動きに関心をもって見たり、友だちの真似をしたりするなど「一緒に嬉しい」という気持ちを保育者も同じ場で共感し、友だちとかかわりながら遊ぶ楽しさを感じられるようにする。</li> <li>・自分の思いを表したり伝えたりすることを楽しめるように、必要に応じて言葉を補いながら、友だちとのつながりができるようにしていく。</li> </ul> <p><b>担任や身近</b> づくり関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者との信頼関係をもとに、一人ひとりの課題を見つけ、自分たちで生活や遊びを進めていけるようにする。</li> <li>・行事を通して様々な人と親しみをもってかかわり、一緒に活動する楽しさを感じられるようにする。</li> </ul>	
		遊び・学び	環境	<p><b>学びの芽生え</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育物や栽培物を通して親しみをもって見る、触れる、世話をする、収穫するなどして、変化や育ちに興味や関心がもてるようにする。</li> <li>・動植物に関する絵本や図鑑、掲示物などを保育者と読んだり、見たりすることで関心や興味もてるようにしていく。</li> <li>・雨や虹、雷などの自然現象の不思議さを感じられるようにしていく。</li> <li>・土や泥、砂、水などに触れ、感触を楽しんだり、試したりしながら、その特性を感じられるようにしていく。</li> <li>・好きな絵本や図鑑などを見つけ、自分で見たり読んだりすることを楽しめるようにする。</li> </ul>
		表現	<p><b>表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと一緒に歌を歌ったり楽器を鳴らしたり、音楽に合わせて自由に身体を動かしたりすることを楽しめるようにしていく。</li> <li>・手遊びやわらべうた、リズム遊びなどを取り入れ、友だちと触れ合って遊ぶ中で、気持ちを通わせて動く経験ができるようにする。</li> <li>・遊びに必要な物を自分なりに考えたり、工夫したりしてつくって遊べるようにする。</li> </ul>	
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりや掲示板などで夏の感染症について知らせ、早期対応の必要性を伝えるとともに、体調の変化について家庭と密に連絡を取り合う。</li> <li>・夏を健康に過ごせるよう、生活の仕方を知らせていく。</li> <li>・食生活におけるマナーや偏食などについて家庭との連携を図っていく。また、バランスのよい食事に心がけてもらえるよう伝えていく。</li> </ul>		

		4歳児 9～10月	
ねらい		<p>○生活に必要なことに自分から気付き、進んでしようとする。</p> <p>○友だちや保育者とかかわりの中で、自分の思いや気持ちを言葉や動きで伝えようとしたり、友だちの言動を感じたりする。</p> <p>○友だちと一緒に体を動かして遊び、みんなで楽しむ楽しさや満足感を味わう。</p>	
生活	健康	環境への 適応の 流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>園生活の流れが分かり、必要なことに自分から気付いて行えるように一人ひとりに応じて、関わっていく。</li> <li>生活リズムを見直し、早寝早起きの大切さについて関心がもてるようにしていく。</li> </ul>
		安全 運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かしたくなるような遊具や用具などを取り入れ、友だちと一緒に運動遊びが楽しめるような場を構成していく。</li> <li>いろいろな運動遊びに興味を広げ、戸外で体を十分に動かして遊ぶ楽しさや気持ちよさを味わえるようにする。</li> <li>一人ひとりの体力や運動機能の発達を考慮し、安全でのびのびと活動ができるようにする。</li> <li>静と動のバランスを考えた活動の展開に留意し、水分補給の声かけをするとともに、十分な休息がとれるようにする。</li> <li>危険な場所や遊び方が分かり、気を付けて安全に遊ぶことができるようにしていく。</li> </ul>
		基本的生活 習慣の （身の回り の始末）	<ul style="list-style-type: none"> <li>気温や活動に合わせて、汗の始末や衣服の調節が必要なことに気付けるようにしたり、自分でしようとしたときは見守ったり、認めたりしていく。</li> <li>身支度や身の回りの物の始末の仕方などに気付き、自分からしようとする姿を見守っていく。</li> <li>保育者や友だちと一緒に片付けや整頓をしながら、きれいになったことへの心地よさを共感していくようにする。</li> </ul>
		食事・ 排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事の様子を見守り、椅子の座り方や箸の持ち方など、自ら意識して食事ができるように<u>促</u>していく。</li> <li>旬の食材についての話をしたり、体の仕組みについて分かりやすく伝えたりし、食べ物と体の関係に気付いていけるようにする。</li> <li>排泄の後始末が自分でできたときは、十分に認め、自信がもてるようにしていく。</li> </ul>
人とかかわり	人間関係	意 識 範 疇	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと生活する中できまりの大切さを感じ、自分なりに守ろうとする気持ちを育てていく。</li> <li>共同の物や公共の物を大切にしようとする気持ちを育てていく。</li> <li>交通安全についての意識を高め、約束を守ることができるようにする。</li> <li>非常時の避難の仕方について繰り返し伝え、自分の身を守る対処の仕方が身に付くようにする。</li> </ul>
		聞 く・ 話 す・ 伝 え 合 う	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友だちとのつながりを感じながら、親しみをもって会話を楽しめるようにしていく。</li> <li>自分の思いを伝えようとする姿を認め、必要に応じて言葉を補い、思いが伝わる嬉しさを感じられるようにする。</li> <li>みんなの前で経験したことを話す機会をつくり、友だちや保育者に聞いてもらう喜びを味わえるようにする。</li> <li>保育者や友だちの話に興味や関心をもち、親しみをもって聞けるようにする。</li> </ul>
		友 だ ち と の 関 係 づ く り	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスで一緒にする活動を繰り返し行うことを通して、みんなで同じことをする楽しさを感じられるようにしていく。</li> <li>友だちとのトラブルの中で十分に思いを出させ、互いの思いが満足できるような方法を一緒に考え、友だちとの遊びを楽しめるようにしていく。</li> <li>園全体での活動を通して異年齢児とかかわることを楽しめるようにし、憧れの気持ちをもったり、思いやりや親しみの気持ちを育てたりしていく。</li> </ul>
		担 任 者 と の 関 係 づ く り	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に気持ちを受け止めてもらい、見守られる中で活動意欲をもち、課題を乗り越えていけるようにする。</li> <li>遠足や園外散歩などで周りの様々な事象に出会う機会をもち、身近な人々に興味や関心、親しみの気持ちがあるようにする。</li> </ul>
遊び・学び	環境 言葉	学 び の 芽 生 え	<ul style="list-style-type: none"> <li>飼育物や栽培物などの世話をしたり、秋の自然素材を活用した遊びを取り入れたりして、自然に興味や関心がもてるようにしていく。</li> <li>子どもの発見や感性をしっかりと受け止め、共感しながら夏から秋への自然の移り変わりを感じられるようにする。</li> <li>園内外の行事において国旗を知り、いろいろな国旗があることに気付けるようにする。</li> <li>絵本や童話、昔話などに親しみ、想像することの楽しさを味わえるようにしていく。</li> </ul>
		表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽に親しみ、友だちと一緒に身体を動かしたり踊ったりして、自分なりの表現を楽しめるようにする。</li> <li>イメージしたことを考えたり、工夫したり、時には保育者に助言してもらいながら、実現していく楽しさが感じられるようにしていく。</li> </ul>
	家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会の目的や取り組みの過程、経験していることなどについて知らせ、保護者と成長の喜びを共感していく。</li> <li>また、競技をする中で、体を動かす楽しさや大切さを感じてもらえるよう働きかけていく。</li> <li>運動量が多い時期なので、体調管理や健康に過ごす生活習慣を心がけてもらう。</li> <li>朝ごはんの大切さや早寝早起きの大切さなどを家庭に知らせ、一日元気に活動できるように生活リズムを整えてもらう。</li> </ul>

## ★4歳児後半期のポイント

		4歳児 11～12月	
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○季節の変化に応じた生活の仕方を身に付ける。</li> <li>○自分の思いや考えを友だちに表したり、相手の思いや考えに気付いたりしながら、みんなと一緒に活動する楽しさを味わう。</li> <li>○身近な自然に自分からかかわり、考えたり、発見を楽しんだりする。</li> </ul>	
生活	健康	環境への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活の流れが分かり、自分から次の行動へと移れるようにしていく。</li> <li>・先の予定を伝え見通しをもてるようにすることで、行事などに期待と自信をもって取り組めるようにする。</li> </ul>
		安全・運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい遊びに自分から挑戦したり、友だちの姿を見て意欲をわかせることができるよう、一人ひとりに応じて関わっていく。</li> <li>・保育者も仲間になって遊びに参加し、ルールのある遊びの面白さや思い切り体を動かす楽しさを繰り返し味わえるようにし、遊び込むことができるようにする。</li> <li>・いろいろな道具や用具などを使って、様々な動きを組み合わせる遊びをする。</li> <li>・暖房器具がある中での安全な遊び方を伝え、活動する場の室温や換気に気を付け、一人ひとりの体調の把握に努める。</li> </ul>
		基本的な生活習慣(身の回りの始末)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度身に付けたと思われる基本的な生活習慣でも、その都度状況に応じたかかわりをしながら、着実に身に付けていけるようにする。</li> <li>・一人ひとりの体調に配慮しながら衣服の調節を促し、自分から気付いて着脱できるようにしていく。</li> <li>・道具や用具、ロッカーの中などの整理整頓の仕方を確認する場をもち、生活の中で身の回りを片付けたり、友だちと役割を分け合ったりして整理整頓ができるようにしていく。</li> </ul>
		食事・排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと一緒に食べる楽しさを味わいながら、食事のマナーを守っていけるようにする。</li> <li>・さまざまな食べ物を生産している人がいることを伝え、生産者や調理をする人への感謝の気持ちをもてるようにする。</li> <li>・トイレはみんなで使う場であることを意識できるよう言葉をかけたり、促したりして、使い方の再確認をしていく。</li> </ul>
人のかかわり	人間関係	規範意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から様々なあいさつをしようとする姿を認めたり励ましたりしていく。</li> <li>・よいことや悪いこと、危険なことや場所が分かり、安全に気を付けて、自分なりに行動できるようにする。</li> <li>・共同の道具や用具などを大切に、みんなで使うことができるようにする。</li> <li>・集団遊びやゲームなどを通して、ルールを守って遊ぶ楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>
		話す・聞く・伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の思いに気付くことができるようにしたりしながら、一緒に遊びや活動を進めていくようにする。</li> <li>・保育者の話を聞くときの姿勢や態度を伝え、気付けるようにしていく。</li> </ul>
		友だちとのづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友だちと同じ思いやイメージをもって、役割を分け合ったり、自分の力で考え工夫したりして、遊びが深まっていく満足感が味わえるようにする。</li> <li>・保育者の仲立ちを受けながら、遊びや活動の中で、友だちのよいところに気付いたり受け入れたりとできるようにしていく。</li> <li>・遊びを通して、異年齢児とのかかわりを深めていけるようにする。</li> </ul>
		担任や身近な人とのづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者との信頼関係をもとに、担任以外の職員ともかかわりを深められるようにしていく。</li> <li>・行事を通して、高齢者をはじめ地域の人などと楽しく交流をする中で人とかかわる楽しさや、感謝の気持ちをもてるようにしていく。</li> </ul>
遊び・学び	環境	学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋から冬にかけての季節の移り変わりを感じるとともに、クリスマスや正月準備などの社会事象に目を向け、楽しみにしながら待ったり準備したりできるようにする。</li> <li>・絵本や図鑑などで、自分が経験したことや不思議に思ったことなどを調べ、自分なりに分かった喜びを味わえるようにしていく。</li> <li>・日常会話や絵本、童話、歌などを通して、様々な言葉があることや楽しさ、面白さなどに気付き、言葉の感覚が豊かになるようにする。</li> </ul>
	言葉	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと役割を意識してごっこ遊びを楽しめるよう、イメージを共有しやすい物や場の設定を子どもと共にし、イメージをつなげるようにしていく。</li> <li>・自分なりのイメージをもってなりきって遊んだり、音楽やリズムに合わせて動いたりすることを楽しめるようにする。</li> <li>・遊びに必要なものをつくるために自分で材料を選び、試したり、工夫したりしながらイメージを実現できるようにしていく。また、身近な素材や特性などに気付き、正しい扱い方を身に付けるようにする。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の感染症などの発症に対し、早期発見や予防ができるよう情報提供していく。</li> <li>・行事や遊びを経験する中で一人ひとりの成長の様子を知らせ、一緒に喜び合う。</li> <li>・交友関係に不安をもつ保護者には、幼児の発達の特性を知らせ、不安や不信感を抱かないようにしていねいに対応していく。</li> </ul>	

		4歳児 1～3月	
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活に必要な習慣や態度が身に付き、自信をもって行動し、進級することへの喜びをもつ。</li> <li>○自分の思いを伝えたり、友だちの思いを受け止めたりしながらかかわりを楽しむ。</li> <li>○遊びや生活の中でクラスの友だちと見たことや感じたことなどを様々な方法で表現したり、みんなで活動する楽しさを味わったりする。</li> </ul>	
生活	健康	活の一日の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中で必要なことに気付いて自分から行動しようとする姿を認め、最後までやり遂げられるようにしていく。</li> <li>・生活に必要な習慣や態度を見直しながら、自信をもって生活できるようにし、進級への期待をもてるようにしていく。</li> </ul>
		安全・運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒さに負けず戸外で体を十分に動かして遊び、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・自分から挑戦したり、友だちや年長児の姿を見て真似をしたりして、やってみようとする気持ちを大切にしながら、一人ひとりに応じて関わり、意欲を育んでいく。</li> <li>・冬の生活の仕方を伝え、健康と安全に関心をもてるようにする。</li> </ul>
		(身の回りの)生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いやうがい、鼻水の始末などをする中で、体や病気について関心をもち、冬の健康に必要な生活習慣が身に付くようにする。</li> <li>・身の回りのことを自分でしようとする姿を大切にしながら、必要に応じて、言葉をかけたり手助けをしたりして、自分でできたという自信がもてるようにしていく。</li> </ul>
		食事・排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで楽しく食事をするために、望ましい食事態度があることを繰り返し伝えていく。</li> <li>・いろいろな栄養が自分の体をつくったり、守ったりすることを知り、様々な食べ物を食べようとする気持ちを育てていく。</li> <li>・排泄やその後の始末などを自分でしようとする姿を見守りながら、一人でできる習慣が身に付くようにする。</li> </ul>
人のかかわり	人間関係	意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりやルールの大切さを伝えるときには場面を捉え、子どもが考えたり、保育者と一緒に確認したりして、考えて行動する力を育んでいく。</li> <li>・共同の遊具や用具などを大切に、必要に応じて分け合ったり、譲り合ったりして遊べるようにする。</li> <li>・様々な場面での身の守り方が分かり、気を付けて行動できるようにする。</li> </ul>
		話し合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な言葉を選んで使ったり、自分から進んで話をしたりすることができるような雰囲気をつくっていく。</li> <li>・保育者の話を聞くときの姿勢や態度に気付いたり、相手が伝えようとしていることに自ら注意を向けて聞いたりできるようにしていく。</li> </ul>
		友だちとの関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス全体でいろいろな遊びに取り組む機会をつくり、クラスのみならずクラス外の楽しさや友だちとのつながりを感じられるようにする。</li> <li>・友だちとのかかわりの中で、自分の思いや考えを伝えたり、友だちの思いを受け止めたりすることで、より遊びが楽しくなることに気付いていけるようにする。</li> <li>・異年齢児と触れ合う中で年長児への憧れの気持ちや年少児への思いやりの気持ちなどがもてるようなかかわりを心がけ、進級への期待が高まるようにする。</li> </ul>
遊び・学び	環境	学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬から春への自然に接し、興味や関心をもつとともに、伝統行事などを通して季節感のある生活を楽しむことができるようにする。</li> <li>・様々な物事に関心をもてるよう、考えたり、工夫したり、試したりできるような環境をつくり、いろいろな疑問や発見などができるようにする。</li> <li>・生活や遊びを通して、数や量、文字などへの感覚を育み、興味を引き出していく。</li> <li>・絵本や童話などの話の展開に興味をもち、イメージを広げて楽しめるようにする。</li> </ul>
		言葉	
		表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、友だちと気持ちを合わせて音楽活動をしたりする楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・必要な材料を選んだり方法を考えたりしながら、自分のイメージを実現していけるようにしていく。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の感染症などが流行しやすい時期なので健康管理や体調について十分連絡を取り合う。</li> <li>・歳末や正月など、この時期ならではの社会現象や自然現象に興味をもてるように、家庭でも配慮してもらうよう伝えていく。</li> <li>・進級に向けて子どもの成長を伝え合い、喜びの気持ちを共有し、親子で安心して進級できるようにする。</li> </ul>	

		4歳児終了時の めざす幼児の姿	
ねらい		◎生活に必要な習慣や態度が身に付き、年長児になることに期待をもち、自信をもって意欲的に過ごす。	
生活	健康 健康な心と体で生活できる力	活—環境への 日の適応への 流れの生	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に必要な習慣や態度を身に付け、意欲的に生活しようとする。</li> <li>一日の生活の流れが分かり、進んで行動しようとする。</li> </ul>
		安全 運動・	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な遊具や用具などに興味や関心をもち、友だちと一緒に様々な運動や遊びをしようとする。</li> <li>自分の健康に対して興味や関心をもつようになる。</li> <li>遊具や物、場所の安全な使い方が分かり、気を付けて遊ぼうとする。</li> </ul>
		(身の回りの 始末) 生活習慣 の基本的	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で体や身の回りを清潔にしようとする。</li> <li>自分で衣服を着脱し、必要に応じて調節しようとする。</li> <li>身の回りの物の始末や片付けなどを進めようとする。</li> </ul>
		食事・ 排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事のマナーや食具の正しい使い方などを身に付け、友だちと楽しく食事をしながら様々なものを食べようとする。</li> <li>排泄やその後の始末などを自分でしようとする。</li> </ul>
人との かかわり	人間関係 相手の気持ちや状況がわかり、 楽しく活動し、協力できる力	意 識 範	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に必要なあいさつを家族や先生などに進めようとする。</li> <li>生活や遊びに必要なさまりの大切さに気付き、それを守って、友だちと一緒に楽しく遊ぼうとする。</li> <li>安全についての構えや緊急時の行動の仕方を身に付け、行動しようとする。</li> <li>身近な動植物に命があることを知り、大切に扱おうとする。</li> </ul>
		伝 え 合 う 話 す ・ 聞 く ・	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友だちに自分なりの言葉で思いを伝えたり、親しみをもって話を聞いたりしようとする。</li> <li>人の話を注意して聞こうとする。</li> </ul>
		友 だ ち の づ く り 関 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の力でやろうとする気持ちをもったり、友だちと一緒にやってみようしたりする。</li> <li>仲の良い友だちと思いや考えを出し合いながら、楽しんで遊ぼうとする。</li> <li>友だちの言っていることや考えていることを受け止めて行動しようとする。</li> <li>異年齢児と触れ合い、かかわる楽しさを味わう中で、憧れや思いやりの気持ちをもつようになる。</li> </ul>
		づ く り 関 係 な 人 々 の 担 任 や 身 近	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者との信頼関係をもとに、自ら行動しようとする。</li> <li>身近な人々に親しみを持ち、楽しんで一緒に活動しようとする。</li> </ul>
遊び・ 学び	環境 言葉 表現	学 び の 芽 生 え	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な事象に興味や関心をもち、友だちの様々な考えに触れたり、発見することを楽しんだりしようとする。</li> <li>自然に触れ、美しさや不思議さなどを感じたり、自然物を使って遊んだりすることをしようとする。</li> <li>生活や遊びの中で数量や図形、文字などに興味や関心をもつようになる。</li> <li>絵本や紙芝居などの内容やストーリーに興味をもち、イメージを広げてしようとする。</li> </ul>
		表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びの経験を広げ、感じたことや思ったこと、想像したことなどをいろいろな方法で表現することをしようとする。</li> </ul>
家庭との連携		共に子どもの成長を願い、共通理解のもとに、連携し合える関係をつくり上げる。	



## ★5歳児前半期のポイント

		5歳児 4～5月	
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○進級した喜びと自覚をもち、進んで生活や遊びに取り組む。</li> <li>○自分のやりたい遊びをしたり、友だちや保育者とのかかわりを楽しんだりしながら、クラスのつながりを感じる。</li> <li>○新しい環境に自分からかかわり、いろいろな遊びに取り組む。</li> </ul>	
生活	健康 健康な心と体で生活できる力	一日の環境への流れの生活の適応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境での生活の仕方を伝え、一日の園生活の流れが分かって、安心して行動できるように掲示物や言葉かけなどを工夫する。</li> <li>・自分たちで活動や生活に必要なものを準備できるように、子どもたちと相談しながら遊具の場所や置き方を考え、整えられるようにする。</li> <li>・のびのびと安定した気持ちで生活ができるように、ゆとりをもてるような時間や場を構成していくようにする。</li> <li>・健康な生活を送るために早寝早起きなどが身に付けられるよう、生活習慣を再確認していく。</li> </ul>
		安全運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外で友だちと体を動かして遊ぶ心地よさやルールのある遊びの楽しさを感じられるようにしていく。</li> <li>・年長になった喜びを保育者や友だちと共有しながら、思い切り体を動かしたり、自分の力を試したりできるようにしていく。</li> <li>・園内外での約束や危険な場所、遊具、用具などの安全な使い方を子どもと一緒に考え合い、気を付けて遊べるようにしていく。</li> </ul>
		身の回りの始末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候や活動に合わせて自分で衣服の調節ができるようにしていく。また、手洗いやうがいなど必要に応じて自分から行えるようにしていく。</li> <li>・持ち物の整理の仕方や遊具、用具などの置き場所が分かり、使った物は元に戻す習慣が付けられるようにしていく。</li> <li>・個人の持ち物や共有物の整理整頓がしやすいよう表示などを工夫をする。</li> </ul>
		食事・排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事のマナーや箸の正しい持ち方などは、具体的な場を捉えて話し、自分で気付いたり、考えたり、伝え合ったりできるようにしていく。</li> <li>・食物アレルギーのある子への対応をしっかり把握しておき、職員間で共通理解をして対応する。</li> <li>・トイレの使い方や手洗いの仕方などを確認し、正しく身に付くようにする。</li> </ul>
人とのかかわり	人間関係 相手の気持ちや状況がわかり、楽しく活動し、協力できる力	意識規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつし合う心地よさが分かり、元気にあいさつができたことを認めていく。</li> <li>・新しい生活の中でのきまりの必要性を感じ、保育者や友だちと一緒につくれるようにしていく。</li> <li>・公共の場所でのマナーや交通規則など、生活のための約束を守ることの大切さが分かり、守れるようにしていく。</li> <li>・友だちとのかかわりの中でルールを理解し、一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>
		伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の伝えたいことを素直に話せるような雰囲気をつくり、自分の思いを受け止めてもらう喜びを味わえるようにしていく。また、友だちの思いにも耳を傾けるようにしていく。</li> <li>・話をする人の方を見て、静かに話を聞く姿勢を自分から気付けるようにしていく。</li> </ul>
		友だちとのづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長になったことを喜び合い、友だちと一緒に遊ぶ楽しさや友だちのつながりを感じられるようにする。</li> <li>・当番活動やグループ活動の仕方が分かり、友だちと一緒に意欲的に進められるようにする。</li> <li>・異年齢児に対して親しみの気持ちをもって接したり世話をしたりする中で、自分のしたことが人の役に立つ嬉しさを感じられるようにしていく。</li> </ul>
		担任や身近なづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長になった喜びと不安に揺れ動く気持ちを受け止め、一人ひとりに応じたかかわりをしていく。</li> <li>・一緒に遊ぶ中で、保育者と心を通わせ、信頼関係を築いていけるようにする。</li> </ul>
遊び・学び	環境言葉 自分で考え、意欲的に学べる力	学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な動植物を大切に世話をしたり飼育栽培をしたりして、身近な自然に興味や関心がもてるようにしていく。</li> <li>・自然の美しさや季節の変化に興味をもったり、自然物を取り入れて遊んだりできるようにする。</li> <li>・日常生活や遊びの中で、数や文字、色などに興味や関心がもてるようにする。また、興味や関心がない子どもにとってはきっかけづくりとなるように、環境を整えていく。</li> </ul>
		表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと気持ちを合わせて歌を歌ったり、身体表現をしたりすることを楽しめるようにする。</li> <li>・いろいろな素材の特性をいかし、自分のイメージに合わせて自分なりにつくったりかいたりして表現することを楽しめるようにしていく。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級による喜びや不安に対して、保護者の思いに共感したり励ましたりしながら信頼関係を深め、一緒に子どもを支えていくような関係づくりに努める。</li> <li>・保護者会や懇談会、たよりなどを通して、園の方針やクラスの目標、予定を伝え、理解を求めるとともに、就学への見通しをもった生活を意識付けてもらうようにする。</li> <li>・現在治療中の病気やアレルギー、発育、発達状態などを把握し、保護者と連絡を密にしておく。</li> </ul>	

		5歳児 6～8月	
ねらい		<p>○年長児としての自覚をもち、生活の仕方や必要なきまりを考える。</p> <p>○友だちと思いや考えを伝え合いながら、一緒に遊びを進め、友だちのかかわりを深める。</p> <p>○いろいろな素材に触れて、夏ならではの遊びに積極的に取り組み、自分なりに考えたり試したりしながら遊ぶ楽しさを味わう。</p>	
生活	健康な心と体で生活できる力	健康	<p>一日の園生活の流れが分かり、友だちと確かめ合いながら、自分から次の行動へと移れるようにしていく。</p> <p>・気候や気温の状態に応じて、子どもの健康に配慮した遊びが行えるような環境を構成していく。</p>
		安全	<p>・水遊びやプール遊びなど季節ならではの遊びを通して、思い切り体を動かす楽しさを味わえるようにする。</p> <p>・子どもの健康状態を把握しておき、異常を感じたときは、的確に対応できるようにし、体調管理に努める。</p> <p>・遊具や用具などの正しい使い方やきまりが分かり、楽しく安全に遊べるようにしていく。</p>
		身の回りの始末	<p>・水分補給や休息をとることの大切さを伝えるとともに、汗の始末や衣服の調節などを自分から進んで行き、気持ちよく過ごせるようにする。</p> <p>・自分の服をきちんとたたんでおく習慣を付けていく。また着替えの際は、意識して決められた場所や時間内で着替え終わることができるようになっていく。</p>
		食事・排泄	<p>・食欲減退期には、環境を整え、しっかりと食事をとる大切さに気付けるようにしていく。</p> <p>・夏野菜の栽培や収穫などを通して、食への関心や意欲を高めていけるようにしていく。</p>
人のかかわり	相手の気持ちや状況がわかり、楽しく活動し、協力できる力	人間関係	<p>・自分から進んであいさつができるように励ましていく。</p> <p>・園生活のきまりや遊びのルール、交通規則など約束を守ることの意味を理解し、守れるようにしていく。</p> <p>・よいことや悪いことを自分で考えて行動できるようにする。</p> <p>・動植物の世話を自分たちでする中で、生きているものへの温かな感情や生命を大切にしようとする心を育てていくようにする。</p>
		話し合う	<p>・相手の思いを感じ取れるように相手の表情や動きに気付かせ、思いを言葉にして伝えたり、思いを聞くように援助したりしていく。</p> <p>・話をする人の方を見て、静かに集中して話を聞く姿勢を自分から気付いてもてるようにしていく。</p>
		友だちとの関わり	<p>・自分の考えと相手の考えの違いに気付き、受け入れられるようにする。</p> <p>・友だちと十分にかかわって遊ぶ楽しさに気付き、互いに思いを伝え合いながら遊びを進められるようにしていく。</p> <p>・クラスやグループ、園全体の活動の中で、目的を理解し、友だちと一緒に進めていけるようにしていく。</p>
		担任や身近な人との関わり	<p>・保育者や友だちのかかわりの中で、安定感をもって生活し、意欲的に取り組めるようにしていく。</p> <p>・困ったことや友だちとのトラブルなどを一緒に考えたりその過程を認めたりすることで、信頼関係を深め、自己肯定感が育まれるようにする。</p> <p>・保育者の声かけにより、みんなと一緒に行動や活動ができるようにしていく。</p>
遊び・学び	自分で考え、意欲的に学べる力	環境言葉	<p>・自然現象や動植物の飼育栽培などを通して気付いたことや不思議に思ったことを、聞いたり、調べたり、友だちと伝え合ったりできるように環境を設定し、知的好奇心を高めていけるようにする。</p> <p>・夏ならではの遊びに興味をもち、繰り返し取り組み、いろいろな素材の感触を楽しんだり特性に気付いて試したり考えたり工夫したりできるようにしていく。</p> <p>・物語や童話などいろいろな絵本に親しみ、想像しながらクラスの友だちと楽しんで聞けるようにしていく。</p>
		表現	<p>・いろいろな楽器の使い方が分かり、友だちと一緒に音を合わせる楽しさを感じられるようにしていく。</p> <p>・歌や手遊び、ダンスなどを通して、みんなの声や動きが合うことの心地よさを感じ、友だちと一緒に表現を楽しめるようにしていく。</p> <p>・友だちと一緒に遊びや目的に向かって必要なものを自分なりに工夫してつくることを楽しみ、それを遊びに使ったり飾ったりできるようにしていく。</p>
家庭との連携		<p>・基本的な生活習慣の自立や規則正しい生活リズムの見直しなどの生活面の自立に向けて、家庭でも取り組んでもらうよう伝えていく。</p> <p>・一人ひとりが自信をもって生活が進められるように、園と家庭が共に励ましの言葉を掛けるなどして、温かく見守っていく。</p> <p>・食生活におけるマナーや偏食について家庭との連携を図っていく。また、園での栽培活動が家庭での食育につながるよう、取り組んでいる様子を伝え、関心を高めていく。</p>	

		5歳児 9～10月	
ねらい		<p>○自分なりのめあてをもち、見通しをもって生活する。</p> <p>○互いの思いや考えを出し合いながら、友だちと一緒に目的に向かって遊びを進めていく。</p> <p>○自分なりの課題をもって活動に取り組み、やり遂げる満足感や友だちと一緒に活動を</p>	
生活	健康な心と体で生活できる力	健康	<p>一日の環境への流れの生活の適応</p> <p>・一日の園生活の流れを予測したり、見通しをもったりして、自分なりに動けるようにしていく。</p> <p>・自分の健康や体について関心をもち、食べ物や運動、生活リズムの大切さなどに子ども自身が気付いて理解できるようにしていく。</p>
		安全	<p>運動</p> <p>・いろいろな運動遊びに取り組み、友だちとのつながりを感じながら、競い合ったり、繰り返し取り組んだりして、全身を使って遊ぶことを楽しめるようにする。</p> <p>・<u>適度な運動と休息の必要性を伝え、清潔で安全な環境の中で、健康に過ごせるようにしていく。</u></p> <p>・<u>自分の体の状態を意識し、異常を感じたときは保育者に伝えられるようにする。</u></p>
		身の回りの	<p>始末</p> <p>・清潔にしておくことが、病気の予防になることを伝え、体や衣服、持ち物などを清潔にできるようにしていく。</p> <p>・保育室や遊具、用具などを共有する気持ちを持ち、大切にしたりみんなできれいに片付けたりできるようにしていく。</p>
		食事	<p>排泄</p> <p>・健康と食べ物に関心を持ち、時間を意識しながら何でも残さず食べられるようにしていく。</p> <p>・話し合いを通して、食物アレルギーへの関心や理解を深められるようにしていく。</p>
人のかかわり	相手の気持ちや状況がわかり、楽しく活動し、協力できる力	人間関係	<p>意識規範</p> <p>・特定の人だけでなく、身近な人に進んであいさつができるようにしていく。</p> <p>・園生活や遊びの中でのきまりやしてはいけないことの意味を理解し、自分たちで知らせ合ったり確認したりして守れるようにしていく。</p> <p>・公共の場所でのマナーや交通規則などを、自ら意識して守れるようにしていく。</p> <p>・非常時の行動の仕方が分かり、自分の命を守る方法を身に付けられるようにしていく。</p>
		伝え話す	<p>聞く</p> <p>・経験したことや感じたことを言葉で表現できるようにしていく。</p> <p>・相手の気持ちを考えながら、言葉で思いが伝えられるようにしていく。</p> <p>・クラスの友だちの前で経験したことや自分の考え、思いなどをみんなに分かるように話したり、友だちの話を聞いたりする場を設けるようにする。</p> <p>・人の話をよく聞いて、自分なりに進んで内容を理解できるようにしていく。</p>
		友だちとの	<p>づくり</p> <p>関係</p> <p>・友だちや保育者と一緒に共通の目的に向かって活動を進める中で、友だちのよさに気付いたり、認めたりして、気持ちを合わせる心のよさを味わえるようにしていく。</p> <p>・自分の力を発揮したり、友だちと力を合わせたりする中で、やり遂げた満足感を味わえるようにしていく。</p> <p>・異年齢児とのかかわりの中で、いたわりや優しさの気持ちをもてるようにし、自覚や自信につなげていく。</p>
		担任や身近な	<p>づくり</p> <p>関係</p> <p>・子どもたちの思いを受け止め、主体的に活動を進められるように、環境を整えたり援助したりし、園生活に充実感を味わえるようにする。</p> <p>・一人ひとりのよいところ、がんばっているところを認めたり励ましたりしながら、自信をもてるようなかかわりをしていく。</p> <p>・地域の催しやさまざまな公共施設を利用したり、訪問したりする機会を設け、生活体験が豊かになるようにする。</p>
遊び・学び	自分で考え、意欲的に学べる力	環境言葉	<p>学びの芽生え</p> <p>・秋の自然素材を活用した遊びを取り入れ、友だちと工夫したり、試したりできる場をつくるようにする。</p> <p>・日常生活や遊びの中で、数量や文字、形などに興味や関心をもてるような機会をつくったり、環境を整えたりしていく。</p> <p>・園内外の行事においていろいろな国に国旗があることを知り、親しみを感じられるようにする。</p>
		表現	<p>運動</p> <p>・運動会に向かっていろいろな運動遊びに進んで取り組み、体を十分に動かして遊ぶ心地よさを味わえるようにしていく。</p> <p>・遊びのルールを確かめたり工夫したりして、友だちと力を合わせ、チームで競い合うことを繰り返し楽しめるようにしていく。</p> <p>・経験したことや感じたこと、考えたこと、イメージしたことなどを様々な方法で自分なりに表現するようしていく。</p>
家庭との連携		<p>・運動会などへの取り組みの経過を伝え、子どものがんばりや気持ちの揺れなどを保護者と共有し、認め支えていくように働きかけることで、子ども一人ひとりの自信が育まれるようにする。</p> <p>・運動することは、体力向上のみならず、自分の体を調整する力や環境に適応する力も付くことを伝え、親子で体を使う遊びを楽しんでもらえるよう、折に触れて伝えていく。</p> <p>・「かめやましファミリー読書リレー」に参加し、家庭ぐるみでの読書習慣をつけてもらうように働きかけていく。</p>	

## ★5歳児後半期のポイント(アプローチカリキュラム)

時期		5歳児 11～12月	
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活の流れに見通しをもち、自分たちで気付いたり、考えたりしながら行動する。</li> <li>○共通の目的に向かって友だちとイメージや考えを出し合いながら遊びを進めていく楽しさや、やり遂げた満足感を味わう。</li> <li>○身近な自然や事象を見たり触れたりしながら、好奇心や探究心を深める。</li> </ul>	
生活	健康	環境への適応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日の流れや行事までの予定などを掲示し、見通しをもって意欲的に生活できるようにする。</li> <li>・活動によって、机や椅子などの配置を工夫し、保育室前方を意識できるようにする。</li> <li>・素材を準備しておくなど、子どもが意欲的に遊びを展開できるようにする。</li> <li>・早寝早起きを意識し、よい生活のリズムが身に付くようにする。</li> <li>・時計や音楽などを利用して活動の区切りを意識できるようにしていく。</li> </ul>
		運動・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな運動や遊びに進んで取り組み、十分に体を動かして遊べるようにする。</li> <li>・自分なりの目標に向かって意欲的に取り組んだり、繰り返し挑戦したりできるようにしていく。</li> <li>・自分の力を発揮して、友だちと思い切り体を動かして遊ぶことを楽しめるように援助していく。</li> <li>・病気の予防に関心をもち、健康な生活習慣が身に付くようにする。</li> <li>・安全な生活を送るために、自分の力で考えて行動できるように援助していく。</li> </ul>
		身の回りの始末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りを清潔にし、手洗いやうがいなどが進んでできるようにする。</li> <li>・靴や衣服の着脱、持ち物の整理など、自分のことは自分できちんとできるように援助していく。</li> <li>・個人の持ち物や共有物の整理整頓が進んでできるようにする。</li> </ul>
		食事・排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物のグループと働き(三色食品群)を伝えたり、栄養面の話を取り入れたりして、いろいろな食材を食べられるようにするとともに、調理をする人への感謝の気持ちをもてるようにする。</li> <li>・小学校との交流活動や就学時健康診断などで、小学校のトイレを使う機会をつくるようにする。また、外出時に自宅以外のトイレや和式トイレに慣れておくことを保護者にも伝えていく。</li> </ul>
人のかかわり	人間関係	規範意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んであいさつをする習慣を身に付けていく。</li> <li>・生活や遊びの中で自己を発揮し、互いに思いを主張したり折り合いを付けたりする体験をし、きまりの必要性などに気付くよう援助していく。また、自分の気持ちを調整する力を育て、ルールやマナーを守れるようにしていく。</li> </ul>
		聞く・話す・伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験したことや感じたこと、考えたことなどを、みんなに分かるように言葉で伝えられるようにしていく。</li> <li>・自分の思いや考えを伝えたり、友だちの思いや考えを取り入れたりすることで、遊びや生活が楽しくなることに気付かせていく。</li> <li>・自ら話を聞く必要性を感じ、最後まで話を聞くことができるようにしていく。</li> </ul>
		友だちとの関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの中で起こる葛藤やつまづきなどを経験し、それらを乗り越えることができるよう、個々に応じて一人ひとりの気持ちを大切に受け止めていくようにする。</li> <li>・友だちとのかかわりの中で相手の思いや考えを理解し、自分の考えに折り合いを付けることができるようにしていく。</li> <li>・クラス全体で共通の目的に向かって活動をする経験をし、友だちと試行錯誤しながら展開していく楽しさや目的が達成する喜びを味わうことで、友だちとのかかわりが深まるようにしていく。</li> </ul>
		担任や身近な人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに築いた信頼感をもとに、安定した情緒で友だちや身近な人々などに主体的にかかわりがもてるようにしていく。</li> <li>・一人ひとりのよさや持ち味を認め、自己肯定感を育てるようなかかわりがもてるようにする。</li> <li>・行事を通して高齢者をはじめ地域の人などと楽しく交流する中で、親しみや優しさをもってかかわったり、人の役に立つ喜びを感じたりできるようにする。</li> </ul>
遊び・学び	環境	学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋から冬にかけての季節の移り変わりに気付くとともに、クリスマスや正月準備などの社会事象に目を向け、進んで準備できるようにする。</li> <li>・生活や遊びの中で、数量や文字、形、時間などに興味や関心がもてるように環境を整え、遊びの中で取り入れていけるようにする。</li> <li>・友だちの様々な考えに触れながら、自分たちで遊びに必要な場をつくり、目的に向かって考え工夫する中で、充実感が味わえるようにしていく。</li> <li>・日常会話や絵本、童話などの内容を理解しながら聞く中で、言葉の使い方や楽しさ、美しさなどに気付いていけるようにし、言葉の感覚が豊かになるようにする。</li> </ul>
		言葉	
	表現	運動・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな運動遊びに興味を向け、自分なりの目標に向かって意欲的に取り組んだり、繰り返し挑戦したりできるような工夫をしていく。</li> <li>・ストーリーを楽しむ、役になって動いたり、自分のイメージを動きや言葉などで表現したりして、友だちとの共通の目的に向かって取り組めるようにする。</li> <li>・身近な生活の中から想像を豊かに膨らませ、様々な用具や素材などを利用して絵にかいたり、遊びに取り入れれたりしてイメージを実現できるようにする。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学を意識し、必要な生活習慣や態度が身に付いているか個々の育ちを確認し、通信や参観などを利用して家庭と連携しながら指導していく。(11月～3月)</li> <li>・(地域連携)小学校のフリー参観日などの情報を保護者に知らせ、見学できる機会をもっていく。小学校区内の他園の年長児と交流し、かかわりを深めていく。(11月～3月)</li> </ul>	

時期		5歳児 1～3月	
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○就学への期待をもち、園生活に見通しをもって主体的に生活を進めていく。</li> <li>○友だちのよさを認め合ったり、つながりを深め合ったりしながら、遊びを進めていく。</li> <li>○課題に主体的に取り組み、乗り越えた満足感を味わい、成長の喜びを感じる。</li> </ul>	
生活	健康	環境への生活の適応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで必要なものを整えたり再構成したりできるように、子どもたちの動きを捉えながら適切な援助をしていく。</li> <li>・立って話を聞く機会や、椅子に座って落ち着いて取り組む活動や体験を入れるようにする。</li> <li>・日にちや時間の流れを理解し、生活のきまりを守りながら、見通しをもって意欲的に生活できるようにする。</li> <li>・生活に必要な習慣や態度を見直ししながら、自覚をもって生活できるようにし、就学への期待を高めていく。</li> <li>・望ましい生活リズムを知り、整えていけるようにする。</li> </ul>
		安全・運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒さに負けず体を十分に動かして、いろいろな運動に挑戦できるような工夫をする。</li> <li>・遊びのルールや約束を守り、危険な行動や動きを感じて、判断できるようにする。</li> <li>・健康で安全に過ごすにはどうしたらよいか考え、自ら行動できるようにする。</li> </ul>
		身の回りの始末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活に必要な物を保護者に伝えたり、自分で用意したりして、身の回りのことを自分でできるようにしていく。</li> <li>・片付けや清潔にすることなど、その必要性を理解し、自分から気付いて取り組めるようにしていく。</li> </ul>
		食事・排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事のマナーを身に付けることや決められた時間内に食べ終わることなど、自分から意識して取り組めるようにしていく。</li> <li>・いろいろな食品の種類や働きを伝え、食べることで健康が保たれることを理解できるようにする。</li> <li>・食物アレルギーに対して、子ども自身が認識し、体の異変などを伝えられるようにする。</li> <li>・保護者と連携しながら、毎朝、排便する習慣を付けていく。</li> </ul>
人のかかわり	人間関係	規範意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら進んであいさつができたことや、ルールやきまりを守って行動できたことを認め、励ましていく。</li> <li>・就学を意識し、通学路を歩く機会をもつよう保護者に啓発し、交通ルールを守って安全に歩けるようにする。</li> <li>・命の大切さについて繰り返し話をし、命を大切にしようとする気持ちが育つようにする。</li> </ul>
		話す・聞く・伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の話や思いが相手に伝わったり、相手の話や思いが分かたりする楽しさや喜びを感じて、伝え合うことができるようにしていく。</li> <li>・話を聞くときの姿勢や態度を身に付け、内容を理解しながら最後まで聞くことができるようにする。</li> </ul>
		友だちとのづくり関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと遊ぶ中で、相談したり工夫したりしてお互いの存在や考えを認め合いながら協同して遊ぶ楽しさや充実感を味わえるようにする。</li> <li>・相手の気持ちを考えながら話したり聞いたりして、互いに自分の気持ちを調整する力が育つようにしていく。</li> <li>・これまで築いてきた異年齢児のかかわりを一層深め、思いやりやいたわりの気持ちを高めたり、つなげたりしていく。</li> </ul>
		担任や身近な人々とのづくり関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長に気付き、大きくなったことを喜ぶとともに、成長を見守ってくれた家族や周りの人々に感謝の気持ちをもてるようにしていく。</li> </ul>
遊び・学び	環境	学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物の変化に気付いたり、自然現象に興味や関心をもって触れたり試したりする中で、美しさや不思議さなどに気付き、関心を深めていけるようにする。</li> <li>・伝統行事を保育にいかし季節感のある生活を送る中で、季節の移り変わりを感じ取れるようにしていく。</li> <li>・生活や遊びの中で、数量や文字、形、時間、位置などに興味や関心をもてるように環境を整え、取り入れていけるようにする。</li> <li>・絵本や童話などの内容を理解しながら聞く中で、様々なイメージを広げ、想像することの楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>
		言葉	
	表現	運動・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒さに負けず十分に体を動かして遊べる活動を意図的に取り入れ、いろいろな運動遊びに興味をもち、友だちと競い合ったり協力し合ったりして、意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>・困難だと思うことや経験したことがないことでも挑戦してみようとする気持ちがもてるよう、一人ひとりに応じて援助し、達成感を味わえるようにする。</li> <li>・イメージが豊かにわくような雰囲気をつくり、様々な材料や用具などを適切に使ったり、楽器や教材、用具などを自分たちで選んだりして、いろいろな表現方法で表す喜びが味わえるようにする。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学への準備を家庭でも進められるように、生活リズムを整えたり通学路を一緒に確認したりするなど、具体的な取り組み方を伝えていく。</li> <li>・一年間の子どもの育ちを伝え、成長を共に喜び合うことで、保護者も一緒に就学への期待がもてるようにしていく。</li> </ul>	

時期		卒園時までをめざす幼児の姿	
ねらい		◎自分の成長を喜び、小学校生活に期待感をもち、入学を楽しみに待つ。	
生活	健康な心と体で生活できる力	健康	<p>一日の環境への生活の適応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心と体を十分に働かせながら、充実感や満足感をもって環境にかかわり、行動しようとする。(1)</li> <li>生活に必要な習慣や態度を身に付け、一日の生活の流れや時間を意識し、見通しをもって自ら取り組もうとする。(1)</li> </ul>
		安全	<p>運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな運動に興味をもち、進んで体を動かすとともに、目標をもって課題に取り組もうとする。(1)</li> <li>自分の健康に対する関心を高め、健康に必要な習慣や態度を身に付けようとする。(1)</li> <li>危険な場所や安全な遊び方、物の扱い方などを知り、状況に応じて安全な行動をとろうとする。(1)</li> </ul>
		身の回りの始末	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛生面に気をつけて、身の回りを清潔にしようとする。(1)</li> <li>身の回りの始末や片付け、整理整頓をするなどの必要性が分かり、自分から気付いて取り組もうとする。(1)</li> </ul>
		食事・排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい姿勢や食具の使い方など、食事のマナーを守り、友だちと楽しく食事をしながら進んで様々な物を食べようとする。(1)</li> <li>食物アレルギーへの関心をもつようになる。(1)</li> <li>自分で排泄やその後の始末などをし、自宅や園以外のトイレや和式トイレを使えるようになる。(1)</li> </ul>
人のかかわり	相手の気持ちや状況がわかり、楽しく活動し、協力できる力	人間関係	<p>意識規範</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活に必要なあいさつを特定の人だけでなく身近な人に進んでしようとする。(9)</li> <li>生活や遊びの中で、きまりの必要性が分かり、それをつくったり、守ったりして楽しく遊ぼうとする。(4)</li> <li>場面にふさわしい態度や、してよいこと悪いことなどを、自分で考えて行動しようとする。(4)</li> <li>安全についての構えや緊急時の行動の仕方を身に付け、適切に行動しようとする。(1)</li> <li>身近な動植物を命あるものとしていたわり、生命を大切にすることをしようとする。(7)</li> </ul>
		聞き手	<p>伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いや考えを相手に伝えるように話そうとする。(9)</li> <li>伝え合う楽しさや喜びを感じるようになる。(9)</li> <li>人の話を最後まで聞いて、理解しようとする。(9)</li> </ul>
		友だちとの関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割を責任をもって行い、最後まで諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動しようとする。(2)</li> <li>友だちと遊んだりクラスで活動したりする中で、互いのよさが分かり、思いを共有しながら、共通の目的に向かい、工夫・協力することへの充実感をもち、最後までやり遂げようとする。(3)</li> <li>友だちと心地よく生活したり、より遊びを楽しんだりするために、自分の気持ちを調整し、折り合いをつけようとする。(4)</li> <li>年長児としての自信や自覚をもち、異年齢児に思いやりやいたわりの気持ちをもってかかわろうとする。(5)</li> </ul>
		担任や身近な人々との関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者との信頼関係をもとに自分のよさに気付き、自信をもって主体的に活動しようとする。(2)</li> <li>身近な人々と関わりながら、自分が人の役に立つ喜びを感じ、地域に一層の親しみをもつようになる。(5)</li> </ul>
遊び・学び	自分で考え、意欲的に学べる力	環境	<p>学びの芽生え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な事象に積極的に関わり、物の性質や仕組みなどを感じたり気付いたりし、考えたり予想したり工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。(6)</li> <li>友だちの様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、新しい考えを生み出す喜びを感じるようになる。(6)</li> <li>自然の美しさや不思議さ、季節の変化などに気付き、好奇心や探究心をもって考え、言葉で表現しながら、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。(7)</li> <li>生活や遊びの中で、数量や図形、標識や文字などの感覚を養い、興味、関心をもつようになる。(8)</li> <li>絵本や童話などを見たり聞いたりする中で、言葉やイメージを豊かにし、言葉で表現したり想像したりすることをしようとする。(9)</li> </ul>
		言葉	
		表現	<p>運動・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な表現を楽しみながら、感じたり考えたりしようとする。(10)</li> <li>イメージを言葉や身体、音楽、絵画などで友だちと一緒に表現する過程を楽しみ、意欲的に表現しようとする。(10)</li> </ul>
家庭との連携		共に子どもの成長を願い、共通理解のもとに、連携し合える関係をつくり上げる。	



# 亀山市保幼認共通カリキュラム

平成 28 年 3 月 発行

平成 29 年 3 月 改訂版発行

令和 4 年 3 月 第 3 版発行

亀山市教育委員会・亀山市健康福祉部子ども未来課